

Study DESK

スタディデスク

組立完成図 (各部の名称)

組立には⊕の
ドライバーが必要です。
ご用意をお願いします。
*電動ドライバーは製品を破損
する恐れがあるので使わない
でください。



組立ては
2名以上で
行って
ください。

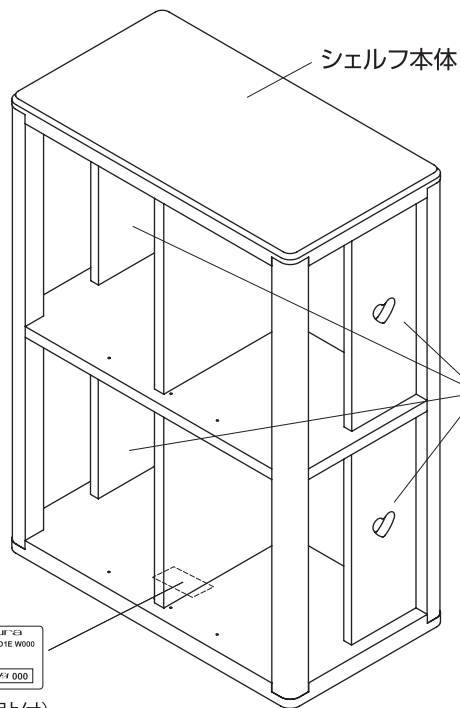
シェルフ 865LFS

組立・取扱説明書

保存版 保証書付

このたびはオカムラ シェルフをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

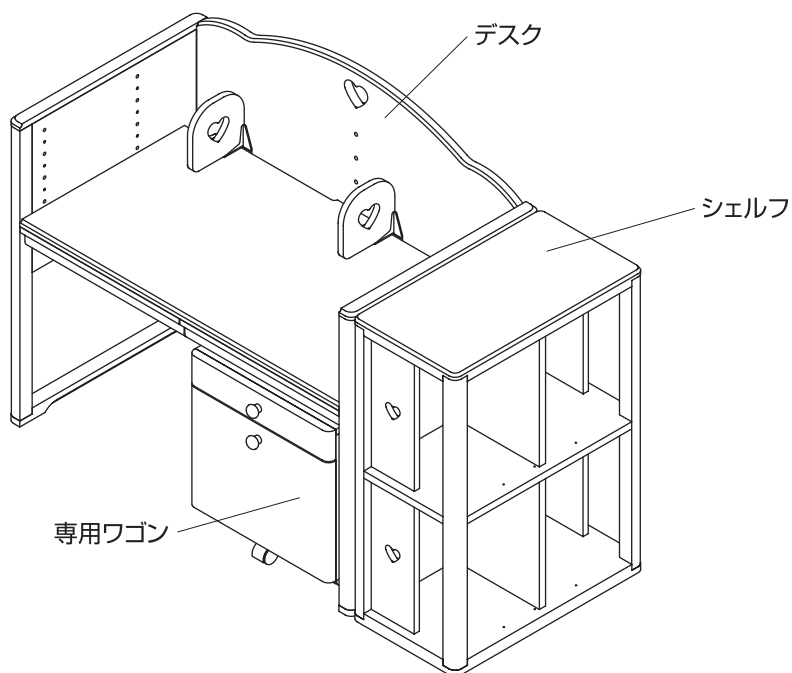
この組立・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。



(裏側に貼付)

(注意ラベルは剥がさないでください)

シェルフ、デスク、専用ワゴンの組合わせ例



安全にお使いいただくために (必ずお守りください)

⚠ 注意

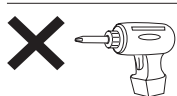
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表します。

⚠ 注意

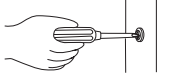
⚠ 組立て上のご注意



組立て前に説明書をよくお読みの上、ボルト類はドライバーで確実にしめ、組立て部品は省かずに使用して正しく組立ててください。



組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が破損したり、ボルトが外せなくなる恐れがあります。



組立て後は平らな場所で製品の本締めを行い、各部がしっかり取付けられているか確認してください。



組立てパターンにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。



分割式ワゴンの上部を分解する際は、回転金具の矢印の位置が下を向いていること確認してから取外してください。

⚠ 取扱い上のご注意

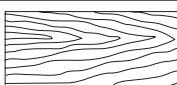


製品を乱暴に取扱うことや、用途以外での使用はしないでください。製品に体重をかけたり、のことは絶対にしないでください。転倒および破損の原因となり危険です。

製品に載せるものは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり危険です。
天板耐荷重=20kg



購入当初の製品は接着剤や塗装物質の臭いがすることがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行い定期的な換気を行ってください。



木目や色がカタログ及び見本製品と違いが出る場合があります。

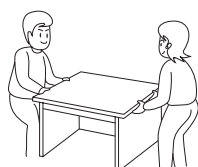
⚠ 据付け時のご注意



水平で安定した場所を選び設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。



直射日光のあたる場所、温度や湿度の高い場所での使用は、変質・変形・変色のもとになりますので避けてください。



製品の据付け及び移動の時は、必ず二人以上で持ち上げてください。
製品を引きずると、床を傷つける場合があります。

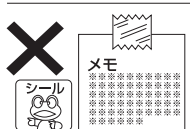
⚠ 末永くお使いいただくために



高熱になっているものを直接製品の上に載せしないでください。
変質・変形・変色の原因となります。



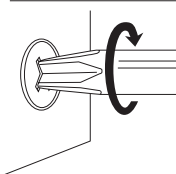
製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。表面材の変形やシミ・腐食の原因となります。ぬれた場合は、水分が残らないようにすぐにふき取ってください。



製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。
表面材がはがれる原因となります。



硬いもので製品をこすったり、下敷き等を使用せずに先の硬いボールペンなどの筆記具で書きものをしないでください。
変形やキズの原因となります。



ボルト類のゆるみと部材の接続部は定期的に点検し、ゆるみなどがあつた場合はしっかり締め直してください。
ゆるんだまま使用した場合、変形・破損及び転倒の危険があります。

⚠ お手入れについて



硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないように硬くしぼった布できれいにふき取ってください。多量に水分が残ると変形・変色の原因となります。



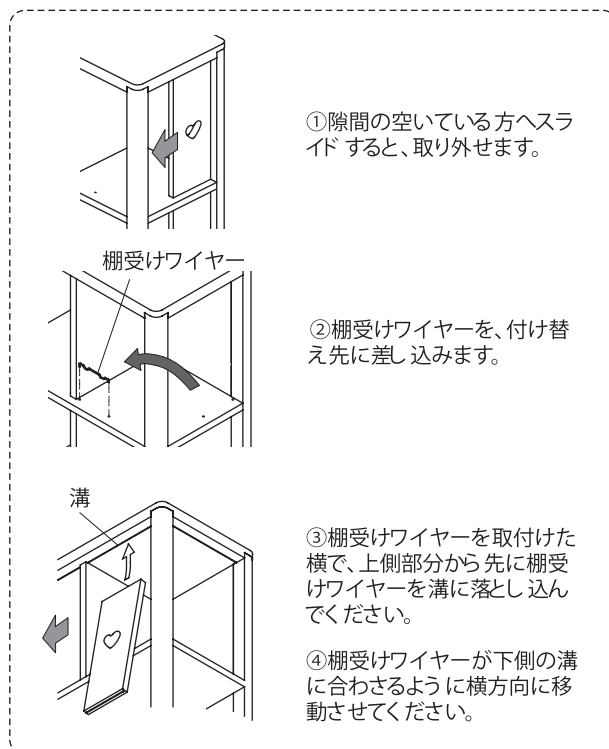
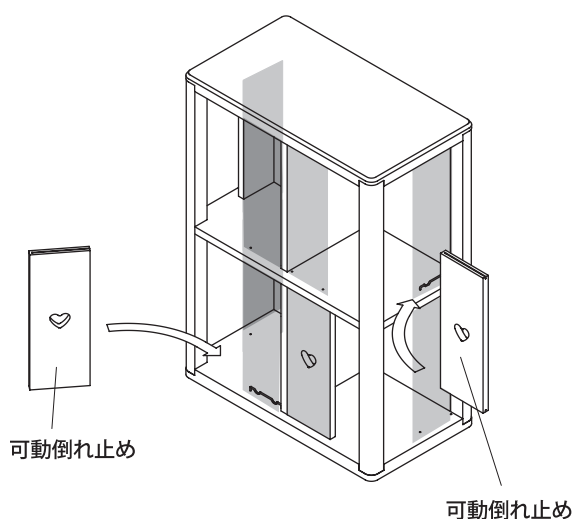
アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

シェルフと可動倒れ止めの使い方

可動倒れ止めの入替え方

可動倒れ止めは下図の網掛け部分に取付きます。

可動倒れ止めの位置を変える場合は右下の手順で付け替えてください。



シェルフの設置方法

シェルフをデスクの横で使用する場合、内向き、外向き、どちらにも設置ができます。

また、デスクと離して使うこともできます。

※設置状況に合わせて可動倒れ止めの
取付け位置を変えてください。

